

◆ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／ いつでも購入できて、日本や外国の資産に投資することができる投資信託です。
信託期間	無期限
運用方針	投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資することを基本とします。 運用方針としては、経済の変動のダイナミズムを先取りしたアセットアロケーションを前提にファンドの組成に取り組む方針を一貫して行います。
主要運用対象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限は設けません。 ②株式への直接投資は行いません。 ③同一銘柄の投資信託証券への投資は、原則として信託財産の純資産総額の50%未満とします。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。(分配を行わないこともあります。)分配金は税引後自動的に全額再投資されません。

※当ファンドは課税上、株式投資信託として取り扱われます。

ありがとうファンド

(愛称:『ファンドの宝石箱』)

第7期 運用報告書

(決算日 2011年8月31日)

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、皆様の「ありがとうファンド」は、平成23年8月31日に第7期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。



東京都台東区上野3丁目19番4号 サカイビル
<http://www.39asset.co.jp>

◆お問合せ先

TEL. **0800-888-3900**(フリーCall: 携帯電話は除く)
または **03-5807-9710**

受付時間8:30~17:30 (土日祝日を除く)

◆ 運用チームからお客様へ

岡 大

代表取締役 CIO（最高投資責任者）

このたび、皆さまのありがとうファンドは、おかげ様をもちまして第7期の決算を迎えました。

何十年もたってから今期を振り返っても、間違いなく『3.11 東日本大震災の年』と言うことで思い返されるような激動の1年になりましたが、本当に多くの方々と長期投資の長旅をご一緒させていただくことができました。心より感謝申し上げます。皆さまからいただいている厚いご信頼にお応えできるように、社員一同、今後も精一杯の努力を続けてまいります。

嵐の波はどんなに荒れても海面近くの表面の起伏に過ぎませんが、津波は海底から海面まで海全体が揺れ動き、とてつもないパワーを伝えます。私たちの長期投資の旅も、今年は環境の根本的な変化、津波に遭遇したかのようですが、幸い、時化レベルにまでは備えていたことが功を奏し、難破や座礁は避けることができました。しかし、結果としては1年前との比較でほぼ横ばいで決算を迎えご期待に添うことはできませんでした。申し訳ありません。

ただおそらくは、この大きな変化は皆さまと一緒している『長期投資』にこれから日が差してくるような、そんな変化になると予想しています。ここからは荒天モードの安定重視から徐々にピッチを上げていくタイミングをしっかりと見きわめてまいります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

川元 由喜子

投信企画運用部 ファンドマネージャー

大震災や原発事故の後、改めて日本の将来像について、あれこれと思いを巡らすことが増えたように思います。豊かで美しい日本を後世に残していくために、何が必要なのだろう、と。

日本人は一般に、お金が第一と考えているわけではないし、お金で物事を測ることをむしろ積極的に嫌う文化があると思いますが、原発事故後に起こったことを見ていますと、健康や安全といったことより、ビジネスを優先させているかのような行動様式が目につきました。高度成長はかなり昔のことになった今も、国としてはまだ、当時の癖が抜けていないのかもしれませんが、成熟国としての自覚が、まだ足りないのかもしれませんが。

持続可能な、という表現は、頻繁に使われるようになりましたが、成熟国として持続可能な経済の在り方を、日本は今、模索しているところなのだと思います。そしてそこでは、効率的な証券市場が、大きな役割を果たすはずなのです。

今の日本の株式市場は、持てる力を発揮できないように見えます。そうだとすれば、とてももったいないことです。ありがとう投信に目を向けてくださる皆さまは、そんな市場の力に気づいていらっしゃるのかもしれませんが。ありがとうファンドをより良いものに育てていくことによって、証券市場の力を信じる投資家の輪が広がっていけば素晴らしい。そんなことを考えながら、運用させていただいています。これからもよろしく願いいたします。

◆ 設定以来の運用実績	P.4
設定以来の基準価額、分配金、期中騰落率、純資産総額を決算期ごとに掲載しています。 期中騰落率とは、基準価額が各期どれだけ値上り（値下がり）したかを意味します。	
◆ 当期中の基準価額と市況等の推移	P.4
当期中の基準価額、組入れファンド全体への投資比率の推移をご覧ください。	
◆ 当期中の運用概況と今後の運用方針	P.5
信託財産の運用状況をファンドマネージャーが説明します。	
● 基準価額の推移	
● 当期の金融市場の動向	
● 当期の運用状況	
● 分配金のお知らせ	
● 今後の運用方針	
◆ 直接販売状況	P.8
運用会社が直接お客様に販売しているありがとうファンド。 今期の販売状況をカスタマーサービス部よりご説明します。	
◆ 1万口当りの費用の明細	P.9
信託財産から間接的に支払われる信託報酬が記載されています。	
◆ 当期中の売買および取引の状況	P.9
当期中に売買された銘柄について、銘柄別に口数や金額などが記載されています。	

◆ 利害関係人との取引状況	P.9
◆ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況	P.9
◆ 自社による当ファンドの設定・解約状況	P.9
◆ 組入資産の明細	P.10
	決算日時点の組入資産の状況が記載されています。	
◆ 投資信託財産の構成	P.10
	信託財産の純資産総額における構成状況を記載しています。	
◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況	P.10
	信託財産全体の資産・負債の状況などが記載されています。 企業でいう貸借対照表のようなものです。	
◆ 損益の状況	P.11
	期中に計上したファンドの収益と損失を掲載しています。 企業でいう損益計算書のようなものです。	
◆ お知らせ	P.11
	当期中に発生した約款変更について掲載しています。	
◆ 指定投資信託証券の運用内容	P.11
	信託財産に組み入れられた投資信託受益証券の運用状況を参考資料として掲載しています。	

◆ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率		
(設定日)	円	円	%	%	百万円
2004年9月1日	10,000	—	—	—	161
1期(2005年8月31日)	10,705	0	7.1	76.0	813
2期(2006年8月31日)	12,526	0	17.0	79.4	3,255
3期(2007年8月31日)	12,681	0	1.2	89.3	6,857
4期(2008年9月1日)	10,075	0	△20.6	92.0	6,847
5期(2009年8月31日)	8,878	0	△11.9	81.9	7,075
6期(2010年8月31日)	8,014	0	△9.7	84.3	6,850
7期(2011年8月31日)	7,940	0	△0.9	86.1	7,105

注1) 基準価額は1万円当り。騰落率は前期比。

注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

注3) 期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

◆ 当期中の基準価額と市況等の推移

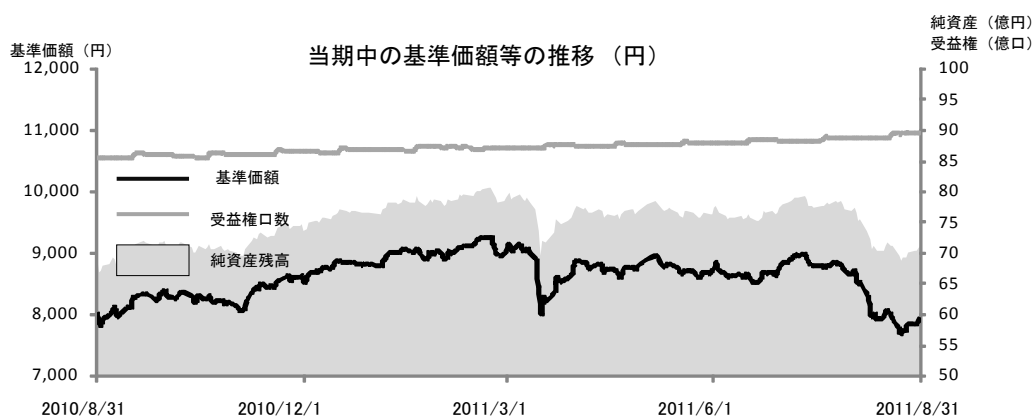
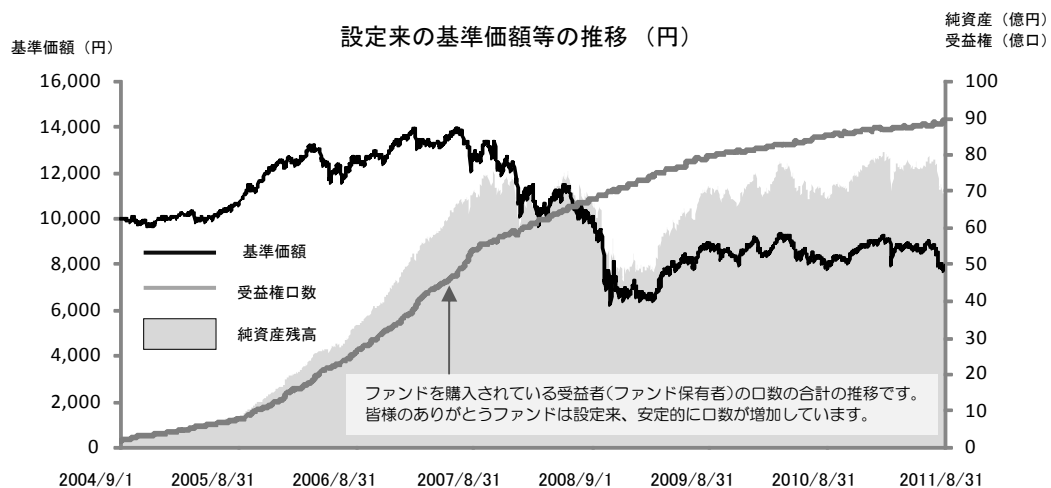
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
	騰落率	騰落率	
(期首)	円	%	%
2010年8月31日	8,014	—	84.3
9月末	8,381	4.6	86.2
10月末	8,172	2.0	87.3
11月末	8,616	7.5	90.4
12月末	8,824	10.1	89.9
2011年1月末	8,986	12.1	89.2
2月末	8,994	12.2	88.8
3月末	8,807	9.9	89.0
4月末	8,769	9.4	88.8
5月末	8,680	8.3	88.5
6月末	8,776	9.5	88.5
7月末	8,691	8.4	87.9
(期末)			
2011年8月31日	7,940	△0.9	86.1

注1) 基準価額は1万円当り。騰落率は期首比。

注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

注3) 期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

◆ 当期中の運用概況と今後の運用方針



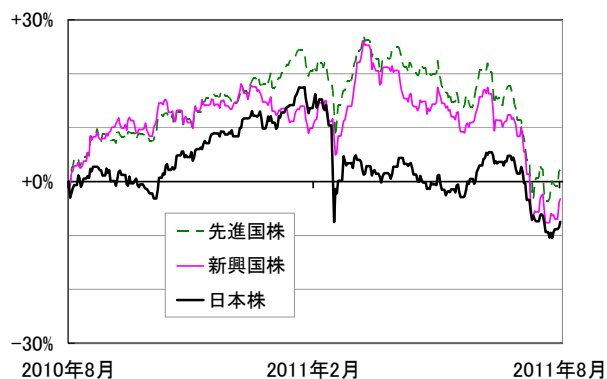
● 基準価額の推移

基準価額は0.9%の下落。基準価額は期首8,014円から期末は7,940円となり74円の値下がりとなりました。

期首	期中高値	期中安値	期末
2010年8月31日	2011年2月18日	2011年8月23日	2011年8月31日
8,014円	9,259円	7,675円	7,940円

● 当期の金融市場の動向

この1年の金融市場は、右のチャート(日本株=TOPIX、先進国株=MSCI WI<円換算>、新興国株=MSCI EM<円換算>)のように、「3.11前」と「3.11後」で大きく景色が変わりました。2010年後半から2011年初めにかけては世界的に景気が上向いているとの見方から、先進国株、新興国株は揃って上昇、日本株も秋口までは円高を嫌気するなど鈍い動きでしたが徐々に海外の動きに追随しました。年明けぐらからは、新興国株がインフレ懸念や中国のバブル懸念などからやや失速しましたが、日本を含む先進国は引き続き堅調な推移となりました。



ところが、3.11の東日本大震災によって、こうした流れがガラッと変わりました。新興国は、それまでに調整してきたことや日本が失速することはこれらの国の経済には逆に利益になるという見方などもあって震災直後にも大きくは下げず、一方、先進国は日本の影響をより強く受けるとの見方で大きく下げました。文字通りの震源となった日本株は、震災と原発事故により経済活動に急ブレーキがかかるとの見方などから急落しました。

その後、海外株は一旦回復しますが、日本では政治のもたつきから復興の遅れが懸念され、さらなる円高も嫌気されたことで強くは戻らず横ばいとなりました。夏にかけては欧米の財政不安の問題や新興国などのインフレ懸念が影を落とし、8月には米景気失速懸念などから世界的にリスク回避性向が鮮明となり、市場は全般に荒れ模様となりました。

● 当期の運用状況

上で申し上げたように、この1年の全体の動きは震災前と後とで様変わりし『いってこい(動き出した相場が元に戻ること)』になってしまいました。ありがとうファンドの今期の運用成績も▲0.9%となり、ご期待に添うことができずに申し訳ありません。実際の投資行動としましては、3.11前までにTMA長期投資ファンド¹⁾、ニッポン・ヨーロッパ・ファンド²⁾ SA、ニッポン・エマージング・マーケット・ファンド³⁾ SA、ALAMCOハリスグローバルバリュー株ファンド⁴⁾ 2007、およびコモンズ30ファンド⁵⁾の5本について少しずつ買い増しを行いました。

一方、さわかみファンド⁶⁾をポジション調整のために一部売却。また、昨年第6期の運用報告書でもご説明しましたとおりトヨタグループ株式ファンドF⁷⁾を、トヨタ自動車一社へのありがとうファンド全体でのリスクの偏りを修正するために口数にして約半分を売却しています。

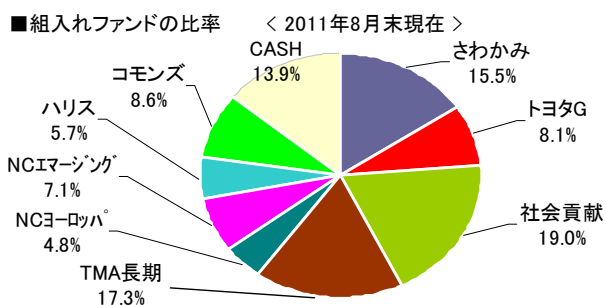
ファンド名	10/08/31	11/08/31	騰落率
ありがとう	8,014	7,940	▲0.9%

ファンド名	10/08/30	11/08/30	騰落率
さわかみ	11,351	10,833	▲4.6%
トヨタグループ	8,305	8,340	+0.4%
社会貢献	8,311	8,604	+3.5%
TMA長期投資	7,637	7,922	+3.7%
NCヨーロッパ	6,889	7,429	+7.8%
NCエマージング	8,940	8,093	▲9.5%
Alamcoハリス	6,282	6,156	▲2.0%
コモンズ30	9,127	8,827	▲3.3%

月次レポートなどでご報告していました通り、2010年12月以降は、キャッシュポジションを緩やかに厚くする方向へ舵を戻してまいりましたので、震災時の大きな下げの影響は比較的軽くて済みました。

その3月の大きな下げを受けて、TMA長期投資ファンド、ALAMCOハリスグローバルバリュー株ファンド2007、コモズ30ファンドの3本をそれまでより多めに買い増しています。

その後は、当面続くと予想された荒波をかいくぐるために、再びキャッシュを厚めに保つ方針を選択、そのために8月の市場全体の波乱の影響も弱めることができたと考えています。もちろん、こういうときの「下げへの強さ」は、組み入れている各ファンドがあげてくれるしっかりしたパフォーマンスがあってこそです。



● 分配金のお知らせ

今期の分配金につきましては、諸々の状況等を勘案の上、前期に引き続き無分配とさせていただきます。

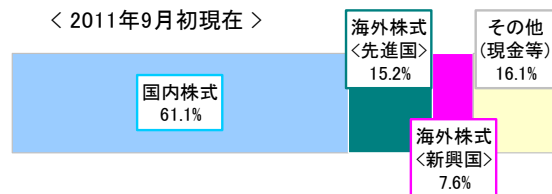
● 今後の運用方針

いつもご説明していますように、私たちは『下げに強いファンド』を目指して運用しています。そのことが、長期投資において最後に笑うこと（最終的な勝つ確率を上げること）につながると確信しているからです。

そして「下げにくい」という意味でも、今の日本株の水準はかなり割安であると引き続き考えていますので、これを中心として組み立てている現在のポジションは継続する方針です。ただし、当座の目安として申し上げてきた「日本株:海外株:キャッシュ=6:3:1」というバランスが、日本株についてはほぼできてきていますので、今以上に日本株ばかりをあらためて買い増しすることは現状では予定していません。

■各ファンドの合計の資産配分状況

< 2011年9月初現在 >



中長期では、日本株の割安さが見直し買いによって解消される中で、徐々に海外株のウェイトを高めていくことになる想定しています。その際には「日本株 2/5、海外株 1/3、残りはそのときの環境に応じて配分」といったあたりが新たな目安になってきます。

また、今しばらくは引き続き荒れやすい市場環境が続くとみていますので、厚めのキャッシュポジションでリスクを抑えることも継続していきますが、状況に応じて買い増しを再開することは既に視野に入れています。

ありがとうファンドが、これからも皆さまにとって『安心してずっと持っていていただけるファンド』でありますように、私たち社員一同、より一層精進してまいります。

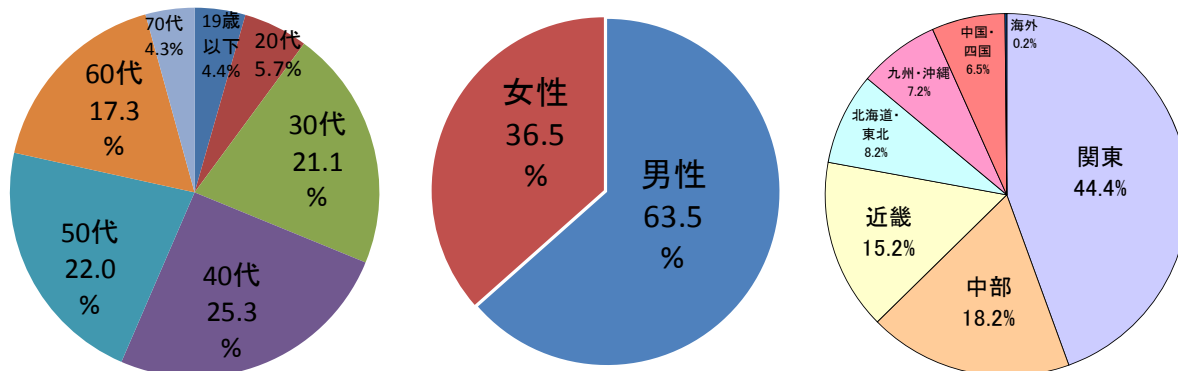
◆ 直接販売状況

● 期末累計口座数 5,647 口座

今期末の口座数は5,647口座となりました。毎月コンスタントに新規口座開設申込を頂きましたが、期中に休眠口座を閉鎖したため前期比で微増となりました。

● お客様の特徴

年代別では、40代、50代、30代の順に多く、これらの年代で全体の約70%を占めており、性別では男性が女性よりも27%多い比率です。運用年数の経過に伴いお客様の年代も上の年代にシフトしてきています。また、地域別では、関東が44.4%と最大で続いて中部、近畿が18.2%、15.2%で続いています。首都圏中心の傾向に変化はありません。



● ファンド設定・解約の状況

ファンドへの資金流入傾向が設定来続いており、今期は338,749,617円の資金純流入でした。特に8月の欧米債務問題による世界連鎖株安の局面において、購入金額が普段の数倍に増加しました。

● 定期定額購入サービス

毎月購入プランと分けて買いプランの2種類（併用も可）を用意しており、ご利用されているお客様の割合は約44.3%です。当社では1000円から積立ができるので“始めやすく、継続しやすい”とお客様からもご好評頂いております。

今期もホルダーズミーティングを始めとして全国各地でセミナーを開催して参りました。セミナー参加者からは“直接話を聴けて良かった”“元気をもらいました”“今後もセミナーを定期的で開催して下さい”等の声を多数頂きました。

今後もお客様のご期待に応えられるように精進して参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

◆ 1万口当りの費用の明細

自2010年9月1日 至2011年8月31日

項 目	金 額 (円)
(a) 信託報酬	81
(投 信 会 社)	(40)
(販 売 会 社)	(33)
(受 託 銀 行)	(9)
(b) 売買委託手数料	0
(投資信託受益証券)	(0)
合 計	81

注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

注2) 各項目毎に円未満四捨五入のため、単純合計と表示が異なります。

◆ 当期中の売買および取引の状況

● 投資信託受益証券

(自2010年9月1日 至2011年8月31日)

銘 柄	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
commons30ファンド	480,556	460,000	—	—
TMA長期投資ファンド	458,734	370,000	—	—
ALAMCOハリスグローバルバリュー株ファンド2007	336,305	240,000	—	—
NC・エマージングマーケット・ファンドSA	241,205	230,000	—	—
NC・ヨーロッパ・ファンドSA	176,595	130,000	—	—
トヨタグループ株式ファンドF	0	0	700,000	668,140
さわかみファンド	0	0	343,819	400,000
合 計	1,693,398	1,430,000	1,043,819	1,068,140

(注1) 金額は受け渡し代金です。また単位未満は切り捨てです。

(注2) NC=ニッポンコムジェスト

◆ 利害関係人との取引状況 (自2010年9月1日 至2011年8月31日)

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

当期における自己取引はありません。

◆ 自社による当ファンドの設定・解約状況

(自2010年9月1日 至2011年8月31日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 元本	取引の理由
千円	千円	千円	千円	
70,000	0	0	70,000	期首残高は当初設定時に自社財産の運用を目的として取得。

◆ 組入資産の明細

● ファンド・オブ・ファンズが組み入れた投資対象ファンドの明細

国内投資信託受益証券	当 期 末 (2011 年 8 月 31 日)		
	口 数	評 価 額	組 入 比 率
	千口	千円	%
社会貢献ファンド	1,571,542	1,352,155	19.0
TMA長期投資ファンド	1,549,406	1,227,439	17.3
さわかみファンド	1,015,494	1,100,084	15.5
コモنز30ファンド	695,111	613,574	8.6
トヨタグループ株式ファンドF	693,960	578,763	8.1
NC・エマージングマーケット・ファンドSA	623,389	504,508	7.1
ALAMCOハリスグローバルバリュー株ファンド2007	653,522	402,308	5.7
NC・ヨーロッパ・ファンドSA	460,662	342,226	4.8
合 計	7,263,089	6,121,061	86.1
銘柄数			8

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。組入比率は四捨五入してあります。

(注2) 単位未満は切り捨てです。

(注3) NC=ニッポンコムジェスト

◆ 投資信託財産の構成

項 目	当 期 末 (2011 年 8 月 31 日現在)	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	6,121,061	86.1
コール・ローン等、その他	984,705	13.9
投資信託財産総額	7,105,766	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨てです。比率は四捨五入してあります。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末 (2011 年 8 月 31 日現在)
(A) 資 産	7,146,828,294 円
コール・ローン等	1,025,767,027
投資信託受益証券(評価額)	6,121,061,267
(B) 負 債	41,062,019
未払解約金	4,882,631
未払信託報酬	36,179,388
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	7,105,766,275
元 本	8,949,466,060
次 期 繰 越 損 益 金	△1,843,699,785
(D) 受 益 権 総 口 数	8,949,466,060 口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	7,940 円

◆ 損益の状況 (自2010年9月1日 至2011年8月31日)

項目	当期末	
		円
(A) 配当等収益	431,016	
受取利息	431,016	
(B) 有価証券売買損益	△42,067,291	
売買益	185,308,167	
売買損	△227,375,458	
(C) 信託報酬等	△71,020,380	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△112,656,655	
(E) 前期繰越損益金	△2,456,479,185	
(F) 追加信託差損益金	725,436,055	
(配当等相当額)	(988,203,527)	
(売買損益相当額)	(△262,767,472)	(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。
(G) 計(D+E+F)	△1,843,699,785	
(H) 収益分配金	0	(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
次期繰越損益金(G+H)	△1,843,699,785	
追加信託差損益金	725,436,055	(注3) 損益状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(配当等相当額)	(988,203,527)	
(売買損益相当額)	(△262,767,472)	
分配準備積立金	173,067,810	
繰越損益金	△2,742,203,650	<注記> (本書作成時点では監査未了です)

◆ お知らせ《当期中の約款の変更》

当期における約款変更はございません。

【ありがとう投信では本資料の他に当ファンドに関する詳細な内容の情報を別途提供する場合があります、ご関心のある方はありがとう投信にお問い合わせ下さい】

《指定投資信託証券の運用内容》

『ありがとうファンド』は、主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

組入れファンドの選択に当たっては、ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視し、ファンド・オブ・ファンズのパフォーマンスへの寄与を明確にします。選択の基準としては、運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件とします。

組入れファンドの運用内容のチェックとして、基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかどうかも重要な判断基準とします。

次ページ以降、各ファンドの直近の決算状況を各ファンドからのデータ提供をもとに掲載しております。

1 《さわかみファンド》

第 12 期（決算日:2011 年 8 月 23 日） 計算期間:2010 年 8 月 24 日～2011 年 8 月 23 日



■1 万口（元本 10,000 円）当たりの費用明細

自 2010 年 8 月 24 日 至 2011 年 8 月 23 日

項 目	金 額
(a) 信託報酬	128 円
(投 信 会 社)	(70)
(販 売 会 社)	(45)
(受 託 銀 行)	(13)
(b) 売買委託手数料	1
(株 式)	(1)
合 計	129

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注 2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■組入資産の明細（上位 10 銘柄）

2011 年 8 月 23 日現在

順位	銘柄コード	銘柄名	業種名	組入比率 (%)
1	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	3.88
2	5108	ブリヂストン	ゴム製品	3.25
3	7011	三菱重工業	機械	2.75
4	9104	商船三井	海運業	2.50
5	4452	花王	化学	2.42
6	6752	パナソニック	電気機器	2.38
7	1605	国際石油開発帝石	鉱業	2.30
8	7752	リコー	電気機器	2.04
9	6902	デンソー	輸送用機器	1.80
10	4063	信越化学工業	化学	1.78

※比率は 8 月 23 日現在における純資産総額比です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2011年8月23日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	207,986,307,526円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	3,935,138,226
株 式 (評 価 額)	203,849,604,400
未 収 配 当 金	201,564,900
(B) 負 債	2,059,888,597
未 払 金	1,405,404,072
未 払 解 約 金	34,625,063
未 払 信 託 報 酬	619,859,462
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	205,926,418,929
元 本	196,110,985,919
次 期 繰 越 損 益 金	9,815,433,010
(D) 受 益 権 総 口 数	196,110,985,919口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	10,501円

(注1) 期首元本額は189,534,126,530円、期中追加設定元本額は16,324,358,319円、期中一部解約元本額は9,747,498,930円です。
(注2) 運用報告書作成日時点では、監査未了です。

■損益の状況

自 2010 年 8 月 24 日 至 2011 年 8 月 23 日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,229,176,443円
受取配当金	4,216,824,965
受取利息	1,273,110
その他収益金	11,078,368
(B) 有価証券売買損益	△19,171,409,486
売買益	8,029,390,851
売買損	△27,200,800,337
(C) 信託報酬等	△2,463,097,887
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△17,405,330,930
(E) 前期繰越損益金	△47,844,252,260
(F) 追加信託差損益金	75,065,016,200
(配当等相当額)	(113,249,045,439)
(売買損益相当額)	(△38,184,029,239)
(G) 合計 (D + E + F)	9,815,433,010
(H) 収益分配金	-
次期繰越損益金 (G + H)	9,815,433,010
追加信託差損益金	75,065,016,200
(配当等相当額)	(113,249,045,439)
(売買損益相当額)	(△38,184,029,239)
分配準備積立金	46,990,264,596
繰越損益金	△112,239,847,786

注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

2 《トヨタグループ株式ファンドF(適格機関投資家専用私募)》

第7期(決算日:2010年11月15日) 計算期間:2009年11月14日~2010年11月15日



■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	前 期	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	33円 (27) (2) (4)	35円 (29) (2) (4)
(b) 売買委託手数料 (株式)	- (-)	0 (0)
(c) 保管費用等	0	0
合 計	33	35

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加設定・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除いたものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 保管費用等には、監査費用を含みます。

■組入資産明細表

● 親投資信託残高

(2010年11月15日現在)

種 類	期 首 (前 期 末)		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
トヨタグループ株式マザーファンド	千口 1,065,918	千円 1,305,110	千口 909,026	千円 1,087,286

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

● トヨタグループ株式マザーファンド組入上位10銘柄(2010年11月15日現在)

銘柄名	業種	比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	50.63%
2 デンソー	輸送用機器	17.54%
3 豊田自動織機	輸送用機器	5.94%
4 アイシン精機	輸送用機器	5.93%
5 豊田通商	卸売業	3.54%
6 ダイハツ工業	輸送用機器	3.49%
7 ジェイテクト	機械	2.37%
8 トヨタ紡織	輸送用機器	2.00%
9 豊田合成	輸送用機器	1.74%
10 日野自動車	輸送用機器	1.63%

※比率は、ファンドの現物株式組入れ=100%とした各銘柄の比率です。
※比率はマザーファンドでの比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	前期 (2009年11月13日)		当期 (2010年11月15日) 現在
	前期末	当期末	
(A) 資産	1,307,999,588円	1,089,688,172円	
コール・ローン等	2,863,411	2,374,504	
トヨタグループ株式マザーファンド(詳細額)	1,305,110,171	1,087,286,664	
未収入金	26,000	27,000	
未収利息	6	4	
(B) 負債	2,773,856	2,326,092	
未払信託報酬	2,735,916	2,294,284	
その他未払費用	37,940	31,808	
(C) 純資産総額(A-B)	1,305,225,732	1,087,362,080	
元本	1,393,960,447	1,193,960,447	
次期繰越損益金	△88,734,715	△106,598,367	
(D) 受益権総口数	1,393,960,447口	1,193,960,447口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9,363円	9,107円	

■損益の状況

項目	前期 (2008年11月14日～2009年11月13日)		当期 (2009年11月14日～2010年11月15日)
	前期	当期	
(A) 配当等収益	957円	789円	
受取利息	957	789	
(B) 有価証券売買損益	302,079,320	△25,657,809	
売買益	362,843,273	14,224,368	
売買損	△60,763,953	△39,882,177	
(C) 信託報酬等	△5,052,587	△4,937,934	
(D) 当期損益金(A+B+C)	297,027,690	△30,594,954	
(E) 前期繰越損益金	△1,129,425,820	△712,968,972	
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	743,663,415 (571,862,931)	636,965,559 (489,814,322)	
(F) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	(171,800,484)	(147,151,237)	
(G) 計(D+E+F)	△88,734,715	△106,598,367	
次期繰越損益金(G)	△88,734,715	△106,598,367	
追加信託差損益金 (配当等相当額)	743,663,415 (571,862,931)	636,965,559 (489,814,322)	
(F) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	(171,800,484)	(147,151,237)	
分配準備積立金	237,807,486	213,509,822	
繰越損益金	△1,070,205,616	△957,073,748	

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

3 《社会貢献ファンド(適格機関投資家専用)》

第6期(決算日:2010年9月21日) 計算期間:2009年9月25日~2010年9月21日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	73円 (64) (2) (7)
(b) 売買委託手数料 (株式)	5 (5)
(c) 保 管 費 用 等	0
合 計	78

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です(各項目ごとに円未満は四捨五入)。なお、売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額×信託報酬率
 (b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料/期中の受益権口数
 (c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
 (d) 保管費用等 = 期中の保管費用等/期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細

●親投資信託残高

(2010年9月21日現在)

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO 社会貢献マザーファンド	千口 1,592,855	千口 1,584,220	千円 1,442,273

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は、1,584,220千口です。

●ALAMCO 社会貢献マザーファンド組入上位10銘柄(2010年9月21日現在)

順位	銘柄名	組入比率
1	アシックス	3.3%
2	DOWA ホールディングス	3.1%
3	トクヤマ	3.1%
4	キャノン	3.0%
5	マキタ	3.0%
6	堀場製作所	3.0%
7	住友金属工業	2.8%
8	本田技研工業	2.7%
9	アマダ	2.7%
10	クラレ	2.7%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2010年9月21日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,451,056,106円
コール・ローン等	8,782,173
ALAMCO社会貢献マザーファンド(詳細額)	1,442,273,919
未 収 利 息	14
(B) 負 債	6,256,657
未 払 信 託 報 酬	6,217,854
そ の 他 未 払 費 用	38,803
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,444,799,449
元 本	1,671,542,949
次 期 繰 越 損 益 金	△226,743,500
(D) 受 益 権 総 口 数	1,671,542,949口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	8,644円

(注1) 期首元本額は1,671,542,949円、期中追加設定元本額は-円、期中一部解約元本額は-円です。
(注2) 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額は以下のとおりです。
元本の欠損(当期末)226,743,500円

■損益の状況

当期(自2009年9月25日至2010年9月21日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,391
受取利息	4,391
(B) 有価証券売買損益	△45,017,669
売買益	291,025
売買損	△45,308,694
(C) 信託報酬等	△12,334,750
(D) 当期損益金(A+B+C)	△57,348,028
(E) 前期繰越損益金	△468,852,546
(F) 追加信託差損益金	299,457,074
(配当等相当額)	(178,185,162)
(売買損益相当額)	(121,271,912)
(G) 計(D+E+F)	△226,743,500
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△226,743,500
追加信託差損益金	299,457,074
(配当等相当額)	(178,185,162)
(売買損益相当額)	(121,271,912)
分配準備積立金	107,899,878
繰越損益金	△634,100,452

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,136,315円)、費用控除後の有価証券等損益額(-円)、信託約款に規定する収益調整金(178,185,162円)および分配準備積立金(95,763,563円)より分配対象収益は286,085,040円(10,000口当たり1,711円)ですが、当期は分配を行いませんでした。

4 《TMA長期投資ファンド(適格機関投資家限定)》

第4期(決算日:2011年5月16日)計算期間:2010年5月18日~2011年5月16日



東京海上アセットマネジメント投信株式会社

■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	40円 (33) (3) (4)
(b) 売買委託手数料 (株式)	12 (12)
(c) 有価証券取引税 (株式)	1 (1)
(d) 保 管 費 用 等	2
合 計	55

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細(2011年5月16日現在)

●親投資信託残高

(2011年5月16日現在)

種 類	期首(前期末)		当 期 末	
	口数	評価額	口数	評価額
東京海上長期投資マザーファンド	千口 1,483,913	千円 1,219,628	千口 2,096,670	千円 1,762,461

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

●東京海上長期投資マザーファンド組入上位10銘柄(2011年5月16日現在)

	銘 柄 名	国 名	評価額 (邦貨換算金額)	組入比率
			千円	%
1	キーエンス	日 本	60,150	3.4
2	関西ペイント	日 本	58,225	3.3
3	ユニ・チャーム	日 本	56,270	3.2
4	テルモ	日 本	53,760	3.1
5	ヒロセ電機	日 本	49,920	2.8
6	キヤノン	日 本	48,295	2.7
7	シマノ	日 本	48,180	2.7
8	エア・ウォーター	日 本	47,750	2.7
9	MICROSOFT CORP	ア メ リ カ	46,579	2.6
10	ダイキン工業	日 本	45,747	2.6

(注1) 組入比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 評価額の単位未満は切り捨てています。

国別構成比率

資産	国名	構成比率
株式		%
	日本	67.5
	アメリカ	11.9
	香港	5.1
	スイス	4.6
	カナダ	1.7
	デンマーク	1.1

(注) 構成比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首(前期末) (2010年5月17日現在)	当期末 (2011年5月16日現在)
(A) 資 産	1,222,654,714円	1,766,778,985円
東京海上長期投資マザーファンド(評価額)	1,219,628,367	1,762,461,314
未 収 入 金	3,026,347	4,317,671
(B) 負 債	3,026,347	4,317,671
未 払 信 託 報 酬	2,964,042	4,228,744
そ の 他 未 払 費 用	62,305	88,927
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,219,628,367	1,762,461,314
元 本	1,502,723,034	2,133,879,037
次 期 繰 越 損 益 金	△283,094,667	△371,417,723
(D) 受 益 権 総 口 数	1,502,723,034口	2,133,879,037口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	8.116円	8.259円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,502,723,034円、
期中追加設定元本額は638,459,733円、
期中一部解約元本額は7,303,730円です。

■損益の状況

項 目	前 期	当 期
	自 2009年5月16日 至 2010年5月17日	自 2010年5月18日 至 2011年5月16日
	円	円
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	165,834,014	45,270,526
売 買 益	165,834,014	45,548,218
売 買 損	-	△277,692
(B) 信 託 報 酬 等	△5,663,312	△7,543,340
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	160,170,702	37,727,186
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△190,723,208	△30,439,263
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△252,542,161	△378,705,646
(配 当 等 相 当 額)	(43,368,983)	(78,696,829)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△295,911,144)	(△457,402,475)
(F) 計 (C + D + E)	△283,094,667	△371,417,723
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△283,094,667	△371,417,723
追 加 信 託 差 損 益 金	△252,542,161	△378,705,646
(配 当 等 相 当 額)	(43,542,815)	(79,492,758)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△296,084,976)	(△458,198,404)
分 配 準 備 積 立 金	39,829,341	60,143,488
繰 越 損 益 金	△70,381,847	△52,855,565

(注 1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価
換えによるものを含みます。

(注 2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には消費税等相当額を
含めて表示しています。

(注 3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、
信託の追加設定の際、追加設定をした 価額から元本
を差し引いた差額分をいいます。

5 《ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)》

第3期(決算日:2010年12月27日) 計算期間:2009年12月26日~2010年12月27日

■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細



項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	79円 (47) (24) (8)
(b) 売買委託手数料 (株式)	7 (7)
(c) 有価証券取引税 (株式)	2 (2)
(d) 保 管 費 用 等	13
合 計	101

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

■組入資産の明細(2010年12月27日現在)

●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド	千口 1,291,099	千口 1,025,391	千円 2,019,491

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

●ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド組入上位10銘柄(2010年12月27日現在)

順位	銘柄名	MSC I 業種10分類	国名	比率
1	SYNTHES INC	ヘルスケア	スイス	6.3%
2	DANONE	生活必需品	フランス	6.2%
3	ESSILOR INTL	ヘルスケア	フランス	5.2%
4	CAPITA GROUP PLC	資本財・サービス	イギリス	5.0%
5	SODEXO	一般消費財・サービス	フランス	4.8%
6	DASSAULT SYSTEMES SA	情報技術	フランス	4.5%
7	SAP AG	情報技術	ドイツ	4.4%
8	LVMH MOET HENNESSY	一般消費財・サービス	フランス	4.3%
9	INDITEX	一般消費財・サービス	スペイン	4.1%
10	ROCHE HOLDING AG	ヘルスケア	スイス	3.9%

※国の別は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

※比率は純資産総額に対する評価額の割合

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首（前期末） （2009年12月25日現在）	当期末 （2010年12月27日現在）
(A) 資産 コ ー ル ・ ロ ー ン 等 ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド（評価額）	1,030,117,350円 4,726,195	1,602,827,335円 7,630,757
未 収 利 息	1,025,391,149	1,595,196,568
(B) 負債 未 払 信 託 報 酬	4,645,372 4,510,126	7,493,801 7,275,593
そ の 他 未 払 費 用	135,246	218,208
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1,025,471,978	1,595,333,534
元 本	1,310,248,548	2,072,716,734
次 期 繰 越 損 益 金	△284,776,570	△477,383,200
(D) 受 益 権 総 口 数	1,310,248,548口	2,072,716,734口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	7,827円	7,697円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,310,248,548円、期中追加設定元本額は772,347,439円、期中一部解約元本額は9,879,253円です。

(注) また、1口当たり純資産額は0.7697円です。

■損益の状況

項 目	前期（2008年12月26日～2009年12月25日） 当期（2009年12月26日～2010年12月27日）	
	前 期	当 期
(A) 配当等収益	629 円	1,246 円
受取利息	629	1,246
(B) 有価証券売買損益	196,336,438	23,046,431
売買益	196,464,292	24,896,505
売買損	△127,854	△1,850,074
(C) 信託報酬等	△7,373,172	△13,465,109
(D) 当期損益金 (A + B + C)	188,963,895	9,582,568
(E) 前期繰越損益金	△163,320,390	25,476,503
(F) 追加信託差損益金	△310,420,075	△512,442,271
(配当等相当額)	(2,199,210)	(19,762,936)
(売買損益相当額)	(△312,619,285)	(△532,205,207)
(G) 合計 (D + E + F)	△284,776,570	△477,383,200
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金 (G + H)	△284,776,570	△477,383,200
追加信託差損益金	△310,420,075	△512,442,271
(配当等相当額)	(2,954,157)	(20,752,550)
(売買損益相当額)	(△313,374,232)	(△533,194,821)
分配準備積立金	25,643,505	35,059,071

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,965,501円)、費用控除後の有価証券等損益額(617,067円)、信託約款に規定する収益調整金(20,752,550円)および分配準備積立金(25,476,503円)より分配対象収益は55,811,621円(10,000口当たり269円)ですが、当期に分配した金額はありません。

6《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)》

第3期(決算日:2010年12月27日) 計算期間:2009年12月26日~2010年12月27日



■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	96円 (57) (29) (10)
(b) 売買委託手数料 (株式)	27 (27)
(c) 有価証券取引税 (株式)	7 (7)
(d) 保 管 費 用 等	55
合 計	185

(注)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b)売買委託手数料、(c)有価証券取引税、(d)保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注)各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注)売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細(2010年12月27日現在)

●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)		当 期 末	
	口数		評価額	
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド	千口 1,155,424		千円 2,590,606 2,627,393	

(注)口数・評価額の単位未満は切り捨て。

●ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド組入上位10銘柄(2010年12月27日現在)

順位	銘柄名	M S C I 業種 10 分類	国	比率
1	TAIWAN SEMI CONDUCTOR-ADR	情報技術	台湾	5.3%
2	JBS SA	生活必需品	ブラジル	4.5%
3	GOLD FIELDS LTD	素材	南アフリカ	4.3%
4	MTN GROUP LTD	電気通信サービス	南アフリカ	3.9%
5	ANGLOGOLD ASHANTI LTD	素材	南アフリカ	3.9%
6	CHINA MOBILE LTD	電気通信サービス	中国	3.3%
7	HTC CORP	情報技術	台湾	3.1%
8	BUNGE LTD	生活必需品	アメリカ	3.1%
9	GRUPO TELEVISIA-ADR	一般消費財・サービス	メキシコ	2.6%
10	NASPERS LTD-N SHS	一般消費財・サービス	南アフリカ	2.5%

※国の別は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

※比率は純資産総額に対する評価額の割合

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首（前期末） （2009年12月25日現在）	当期末 （2010年12月27日現在）
(A) 資産等 ロール・ローン ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド（詳細額）	1,082,805,544円 5,025,960 1,077,779,578	2,637,508,845円 10,115,783 2,627,393,049
未収利息	6	13
(B) 負債 未払信託報酬 その他未払費用	4,935,723 4,792,022 143,701	9,894,625 9,606,490 288,135
(C) 純資産総額（A - B）	1,077,869,821	2,627,614,220
元本	1,169,165,348	2,655,878,581
次期繰越損益金	△91,295,527	△28,264,361
(D) 受益権総口数	1,169,165,348口	2,655,878,581口
1万口当たり基準価額（C/D）	9,219円	9,894円

（注）当ファンドの期首元本額は1,169,165,348円、期中追加設定元本額は1,486,713,233円、期中一部解約元本額は0.0円です。

（注）また、1口当たり純資産額は0.9894円です

■損益の状況

項 目	前期（2008年12月26日～2009年12月25日） 当期（2009年12月26日～2010年12月27日）	
	前 期	当 期
(A) 配当等収益 受取利息	666 円 666	1,412 円 1,412
(B) 有価証券売買損益 売買益 売買損	401,197,416 421,681,421 △20,484,005	176,193,470 176,792,573 △599,103
(C) 信託報酬等	△8,271,928	△16,450,484
(D) 当期損益金（A + B + C）	392,926,154	159,744,398
(E) 前期繰越損益金	△286,873,877	106,052,277
(F) 追加信託差損益金 （配当等相当額） （売買損益相当額）	△197,347,804 (4,808,070) (△202,155,874)	△294,061,036 (146,262,762) (△440,323,798)
(G) 合計（D + E + F）	△91,295,527	△28,264,361
(H) 収益分配金 次期繰越損益金（G + H） 追加信託差損益金 （配当等相当額） （売買損益相当額） 分配準備積立金	0 △91,295,527 △197,347,804 (5,022,301) (△202,370,105) 106,052,277	0 △28,264,361 △294,061,036 (147,705,218) (△441,766,254) 265,796,675

（注）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

（注）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）計算期間末における費用控除後の配当等収益(22,882,835円)、費用控除後の有価証券等損益額(136,861,563円)、信託約款に規定する収益調整金(147,705,218円)および分配準備積立金(106,052,277円)より分配対象収益は413,501,893円(10,000口当たり1,556円)ですが、当期に分配した金額はありません。

7《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007(適格機関投資家専用)》

第4期(決算日:2011年3月9日) 計算期間:2010年3月10日~2011年3月9日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項	目	当 期
(a)	信託報酬	94円
	(操業会社)	(72)
	(販売会社)	(16)
	(委託銀行)	(6)
(b)	売買委託手数料	8
	(株)	(8)
(c)	有価証券取引税	4
	(株)	(4)
(d)	保管費用等	4
	合 計	110

(注)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です(各項目ごとに円未満は四捨五入)。なお、売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

- (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額×信託報酬率
 (b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の受益権口数
 (c) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数
 (d) 保管費用等 = 期中の保管費用等/期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

■組入資産の明細

●親投資信託残高

(2011年3月9日現在)

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株マザーファンド	千口 15,699,006	千口 13,126,217	千円 10,456,345

(注)親投資信託の当期末の受益権総口数は32,058,429千口です。

●ALAMCO ハリスグローバルバリュース株マザーファンド組入上位10銘柄(2011年3月9日現在)

順位	銘柄名	組入比率
1	INTEL CORP	4.9%
2	APPLIED MATERIALS	3.9%
3	JULIUS BAER GROUP LTD	3.7%
4	CARNIVAL CORP	3.2%
5	BANCO SANTANDER S.A	3.2%
6	FRANKLIN RESOURCES INC	3.1%
7	ALLIANZ SE	3.0%
8	DIAGEO PLC	3.0%
9	BANK OF NEW YORK MELLON CORP	3.0%
10	NESTLE SA-REG	2.9%

(注)組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2011年3月9日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	10,596,322,067円
コ ー ル ・ ロ ー ン 産 等	139,976,635
A L A M C O ハ リ ス グ ロ ー バ ル	
バ リ ュ ー 株 マ ー ジ ン フ ェ ン ド (評 価 額)	10,456,345,202
未 収 利 息	230
(B) 負 債	52,132,535
未 払 信 託 報 酬	51,977,869
そ の 他 未 払 費 用	154,666
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	10,544,189,532
元 本	13,707,245,555
次 期 繰 越 損 益 金	△3,163,056,023
(D) 受 益 権 総 口 数	13,707,245,555口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C / D)	7,692円

(注1) 期首元本額は16,252,848,928円、期中追加設定元本額は8,210,733,001円、期中一部解約元本額は10,756,336,374円です。

(注2) 投資信託財産計算規則第55条の6第10号に規定する額は以下のとおりです。元本の欠損(当期末)3,163,056,023円

■損益の状況

当期(自2010年3月10日至2011年3月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	70,241
受取利息	70,241
(B) 有価証券売買損益	895,509,033
売買益	1,196,773,137
売買損	△301,264,104
(C) 信託報酬等	△121,401,594
(D) 当期損益金 (A+B+C)	774,177,680
(E) 前期繰越損益金	△872,245,707
(F) 追加信託差損益金	△3,064,987,996
(配当等相当額)	(162,018,525)
(売買損益相当額)	(△3,227,006,521)
(G) 計 (D+E+F)	△3,163,056,023
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G+H)	△3,163,056,023
追加信託差損益金	△3,064,987,996
(配当等相当額)	(167,880,265)
(売買損益相当額)	(△3,232,868,261)
分配準備積立金	195,392,028
繰越損益金	△293,460,055

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(131,288,567円)、費用控除後の有価証券等損益額(一円)、信託約款に規定する収益調整金(167,880,265円)および分配準備積立金(64,103,461円)より分配対象収益は363,272,293円(10,000口当たり265円)ですが、当期は分配を行いませんでした。

8《コモンズ30ファンド(適格機関投資家用)》

第2期(決算日:2011年1月18日) 計算期間:2010年1月19日~2011年1月18日



■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項	目	当 期
(a)	信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	62円 (57) (1) (4)
(b)	売買委託手数料 (株式)	21 (21)
(c)	保 管 費 用 等	5
	合 計	88

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

■組入資産の明細

●親投資信託残高

(2011年1月18日現在)

種類	期 首		当 期 末	
	口数	評価額	口数	評価額
コモンズ・サーティ・マザーファンド	千口 47,761	千円 70,568	千口 497,832	千円 700,948

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

●コモンズ30ファンド(2011年1月18日現在)

	銘柄名	業種	比率
1	小松製作所	機械	3.9%
2	三菱商事	卸売業	3.7%
3	シスメックス	電気機器	3.6%
4	クボタ	機械	3.5%
5	東京エレクトロン	電気機器	3.4%
6	信越化学工業	化学	3.3%
7	第一三共	医薬品	3.3%
8	楽天	サービス業	3.2%
9	ダイキン工業	機械	3.2%
10	マキタ	機械	3.2%

(注) 組入比率は、株式合計の評価額に対する比率。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首（前期末）	当期末
	（2010年1月18日現在）	（2011年1月18日現在）
(A) 資 産	70,658,028円	701,918,582円
コモンズ・サテーター・マザーファンド（評価額）	70,568,028	700,948,582
未 収 入 金	90,000	970,000
(B) 負 債	84,616	954,098
未 払 信 託 報 酬	78,099	855,282
そ の 他 未 払 費 用	6,517	98,816
(C) 純 資 産 総 額（A-B）	70,573,412	700,964,484
元 本	65,023,969	686,764,930
次 期 繰 越 損 益 金	5,549,443	14,199,554
(D) 受 益 権 総 口 数	65,023,969口	686,764,930口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額（C/D）	10,853円	10,207円

（注）期首元本額は65,023,969円、期中追加設定元本額は621,740,961円、期中一部解約元本額は0.0円です。

（注）また、1口当たり純資産総額は1,0207円です。

■損益の状況

項 目	前期（2009年10月26日～2010年1月18日）	当期（2010年1月19日～2011年1月18日）
	前期	当期
(A) 有価証券売買損益	5,658,030 円	37,047,592 円
売買益	5,658,030	37,106,218
売買損	-	△58,626
(B) 信託報酬等	△84,616	△1,656,515
(C) 当期損益金（A+B）	5,573,414	35,391,077
(D) 前期繰越損益金	-	5,573,414
(E) 追加信託差損益金	△23,971	△26,764,937
（配当等相当額）	（ - ）	（53,384,407）
（売買損益相当額）	（△23,971）	（△80,149,344）
(F) 合計（C+D+E）	5,549,443	14,199,554
(G) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金（F+G）	5,549,443	14,199,554
追加信託差損益金	△23,971	△26,764,937
（配当等相当額）	（8,671）	（54,005,644）
（売買損益相当額）	（△32,642）	（△80,770,581）
分配準備積立金	5,573,414	40,964,491

（注）損益の状況の中で（A）有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で（B）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

（注）損益の状況の中で（E）追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）計算期間末における費用控除後の配当等収益（2,845,939円）、費用控除後の有価証券等損益額（32,545,138円）、信託約款に規定する収益調整金（54,005,644円）および分配準備積立金（5,573,414円）より分配対象収益は94,970,135円（10,000口当たり1,382円）ですが、当期に分配した金額はありません。